

CASIO

IDC-400J/IDC-450J

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げ下さいまして誠にありがとうございます。
末長くお愛用いただるために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

本機の特長

- 電波時計（国内2局対応自動選局機能付）
福島県「おおたかどや山」（40kHz）
佐賀県と福岡県の境「かがね山」（60kHz）
- 電波受信機能のオン／オフ切り替え
- 音声ガイド機能
- カレンダー表示は、当日の日付と1か月分をフル表示
- 六曜表示機能や、西暦／年号の表示切替機能、第何曜日表示
- 時報機能
- センサーにより、温度・湿度を表示
- 生活環境お知らせ機能

安全上のご注意

絵表示について
本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- △ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。
- 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。
- 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

警告

袋をかぶって遊ばないでください

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。けがをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてけがや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

・極性（+と-の向き）に注意して正しく入れてください。

・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

・種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

・長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。

・本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬけがをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

時計が止まっているときは、電池を外すときには、プラス極から外してください。

カレンダーの表示濃度を調整するときは、カレンダーや時刻などを変更するときに押します。

ボタンを押して時刻などを修正する

電波が受信できないときなどに、ボタンを押して時刻を修正します。
①【セット】を押して、時刻などを修正する状態（セット状態）にします。
修正できる項目が点滅します。

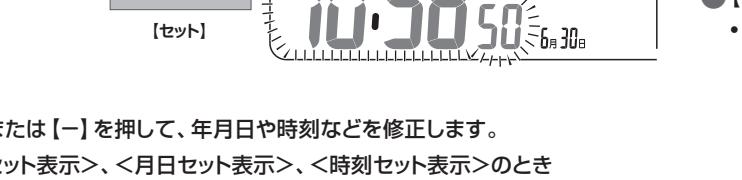
- 設定内容を音声でガイドします。
- セット状態で2~3分間何も操作しないと、自動的に通常表示に戻ります。

注意
・セット中は、音声のガイドを聞き終えてからボタンを操作してください。音声の途中でボタンを押すと、音声が途中で切れたり、出ないことがあります。

②【セット】を押して、修正する項目を選びます。

【セット】を押すごとに、下記の順で修正できる項目が切り替わります。

<通常表示>
例 2017年6月30日 金曜日
午後10時58分50秒(12時間制表示)



③【+】または【-】を押して、年月日や時刻などを修正します。
<年セット表示>、<月日セット表示>、<時刻セット表示>のとき
・【+】を押す：点滅個所の数字が大きくなります。
・【-】を押す：点滅個所の数字が小さくなります。
・ボタンを押し続けると早送り／早戻しができます。

<時刻セット表示>のとき
・ボタンを押して分を進めた（戻した）タイミングで、「00」秒からスタートします。

<12/24時間制セット表示>のとき
・【+】または【-】を押すごとに、時刻の表示方法（12時間制/24時間制）が切り替わります。

・12時間制
午後は「午後」マークが点灯します。
・24時間制
「24H」マークが点灯します。

④【セット】を押して、<通常表示>に戻します。

カレンダー機能の使い方

西暦表示/年号表示の切り替え

●【西暦 年号】スイッチで表示を切り替えます。

<西暦表示>
西暦(下2桁を表示)
大安
年号
30

西暦(下2桁を表示) 年号

西暦(年号表示) 年号</p